各務原市地域公共交通計画（案）への 意見と市の考え

各務原市では、地域の現状や地域公共交通の課題を整理して、地域の実情や利用者のニーズに応じた利便性の高い公共交通ネットワークを維持していくため、「地域公共交通計画（2024年度～2030年度）」（案）を公表し、パブリックコメント（意見募集）を実施しました。

その結果、2名の方からご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は次のとおりです。

◆実施期間

令和6年1月19日（金）から2月7日（水）まで

◆意見の提出状況

提出者数 2名 2件

ご意見 1

対象箇所	24 ページ 2 行目 課題への対応方針 公共交通のデザイン
ご意見	
学生の需要に即した持続可能な公共交通もデザインしてください。 川島地区から岐阜市内の高校に通うのに、一宮経由にすると1時間半かかりますし、バス停からも遠いです。 笠松駅へのバスもふれあいバスも3時間に1本では、帰宅時にとても利用できません。 むしろチョイソコ各務原の方が利用しやすいと思います。 ふれあいバスならパターンダイヤとしてほしいです。	
各務原市の考え	
本計画では、メインターゲットを「高齢者や学生等、自身での自家用車による移動が困難な方」としており、「メインターゲットの需要に即した持続可能な公共交通をデザインします。」には学生の需要も含まれています。通学での公共交通の利用も意識しながら、学生に対しても効果的・効率的な施策を推進していきます。	

ご意見 2

対象箇所	38 ページ 個別施策 次世代モビリティ・先進技術の研究
ご意見	
<p>可児市在住者から、可児市ではタクシーのボランティアを募集することになったと聞きました。可児市では通勤時間帯の路線バスの乗車率が極めて低く、バス運営会社からは「撤退したい」旨の話があるようです。ですが路線バスが廃止となると当然困る人も出てきます。その対策として可児市はボランティアでの対応を考えているようです。今回の計画案では、各務原市にはそのような案はなさそうですが、いずれ導入されるようなお考えでしょうか？</p> <p>また、「カーシェアリング」という言葉は出てきましたが、「ライドシェア」という文言は見当たりませんでした。「ライドシェア」が導入されればアルバイトとして検討したいのですが、これは全く検討外の話なのでしょうか？私個人としては「ライドシェア」で幾らかでも稼げるのなら御の字、百歩譲ってボランティアでも喜んでくれる方がいるのならそれでもいいかな、と考えています。</p>	
各務原市の考え	
<p>路線バスやタクシーの運転士は人の命を預かる責任の重い仕事です。労働の対償として相応の賃金を支払うことが必要と考えますので、本計画において運転士不足をボランティアで補うことは考えておりません。しかし、運行体制の確保は課題の一つです。交通事業者と行政等が連携して運転士確保に取り組んでいきます。</p> <p>ライドシェアは、国が制度設計に向け議論をしているところです。計画の中でライドシェアを例示してはおりませんが、カーシェアリング同様、新たなサービス形態として情報を収集し、動向を注視していきます。</p>	